

FV-511A型

音声データ転送ソフトウェア取扱説明書

「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」はFV-511A をシリアル通信により、制御または音声・テキストメッセージのデータを本体へ転送・書き込みする総合ユーザーインターフェースです。

注意事項

- 本プログラムは、音声・テキストメッセージを本機に内蔵されているフラッシュメモリに転送（データ書き込み）することを主目的としております。プログラム中の「テスト再生」の機能につきましてはお客様がシリアル通信機能を使用して本機を制御する場合の動作確認用参考ソフトとして添付しております。お客様でご使用のアプリケーションとの連動など、高度なご使用を希望される際は本体取扱説明書の「通信制御コマンド(プロトコル)」の仕様をご理解いただき、ソフトウェア開発の専門家にアプリケーションプログラムの開発を依頼されることをお勧めいたします。
- 本プログラムは、全てのパーソナルコンピュータで動作の確認をおこなっていません。したがって、パーソナルコンピュータの機種によっては、使用されている部品の違いなどにより、本プログラムが動作しないことがあります。また、既にインストールされている他のソフトとの相性によっても、リソースの競合をおこし、本プログラムの動作に影響をおよぼす可能性があります。特に、シリアルポートを制御するプログラムが既にインストールされている場合は、そのプログラムがシリアルポートを開放していることを確認して、本プログラムを起動してください。もしくは、本プログラムを起動後、設定メニューから、空いているシリアルポートを指定してください。

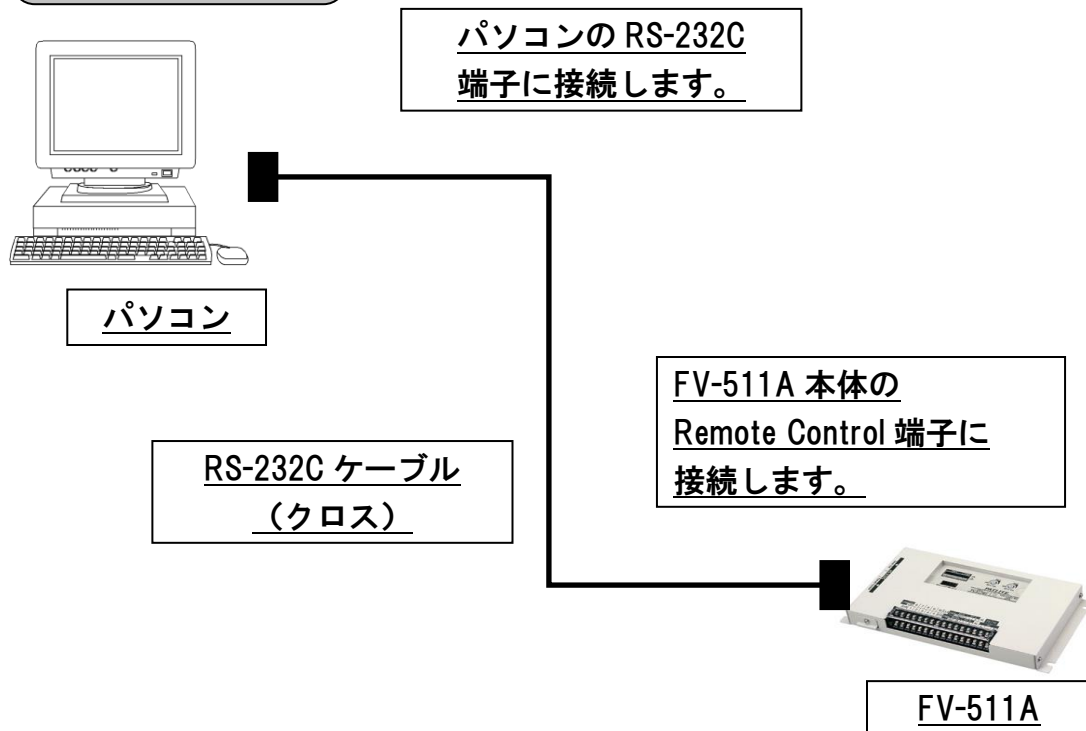
動作環境

条件項目	内容
対応 OS	Microsoft Windows XP SP3 以降/Vista/7
実行環境	Microsoft .NET Framework 4
CPU	OS の推奨スペックを満たすこと
メモリ	OS の推奨スペックを満たすこと
ハードディスク	100Mbyte 以上の空き容量が必要
ディスク装置	CD-ROM ドライブ
インターフェース	シリアルポート (RS232C、または USB。ただし USB のときは、USB シリアル変換アダプタ必要)

1. システム構成

FV-511A 型音声データ転送用ソフトウェアのシステム構成と動作条件を示します。

システム構成図

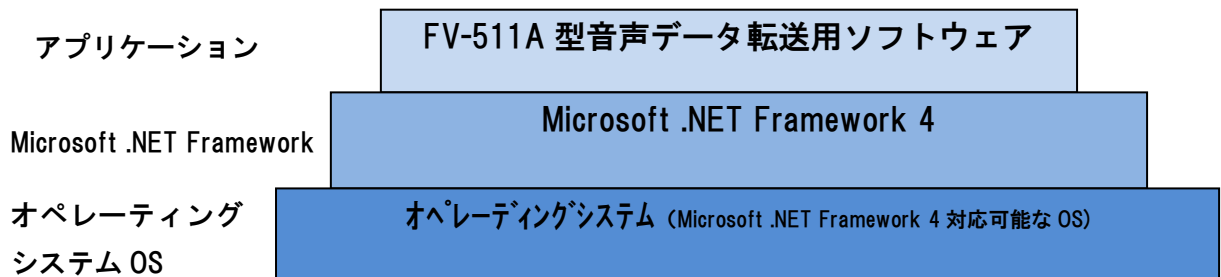


パソコンの RS-232C 端子と FV-511A の「Remote Control 端子」とを RS232 用ケーブル（クロス）で接続します。RS232 用ケーブル（クロス）は付属していません。また、パソコン側に RS-232C 端子がない場合は市販の USB-RS-232C 変換ケーブルをお買い求めください。

<USB-RS232C 変換ケーブル推奨品>

I/O データ社製 名称 USB シリアル変換アダプタ 品番 USB-RSAQ5

ソフトウェア動作条件



2. ソフトウェアのインストール

以下の方法で、CD-ROM の「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」フォルダ内にある setup.exe を実行してインストールプログラムを起動します。また、インストールの前に起動しているすべてのプログラムを終了してください。

注意

- パソコンに RS-232C 端子がない場合で市販の USB-RS-232C 変換ケーブルを使用する場合は、その製品の取扱説明書をご覧ください。また、ドライバーソフトなどのインストールを事前に済ませておいてください。

2.1 インストール用プログラムの起動方法

1. CD-ROM をパソコンに挿入してください。

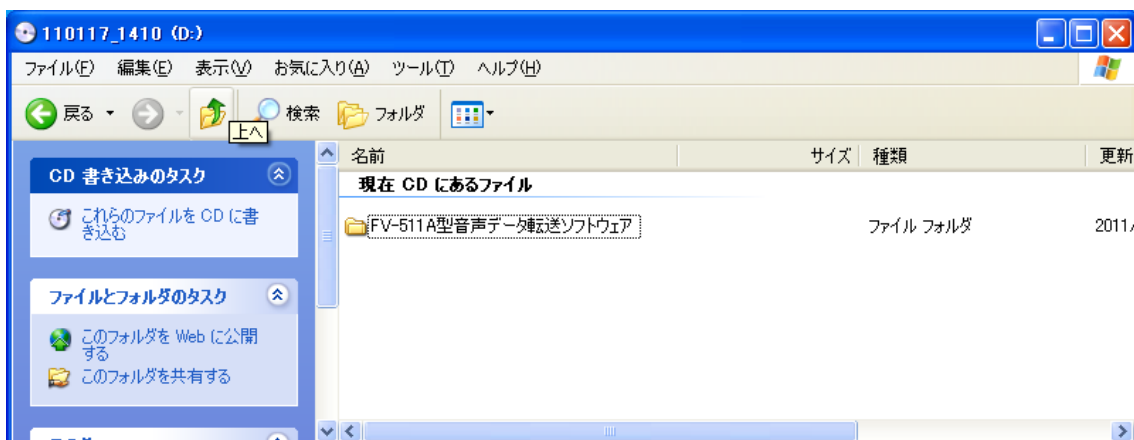
<CD-ROM 自動再生ウィンドウが表示される場合>

自動再生のウィンドウが開いたら「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックしてください。

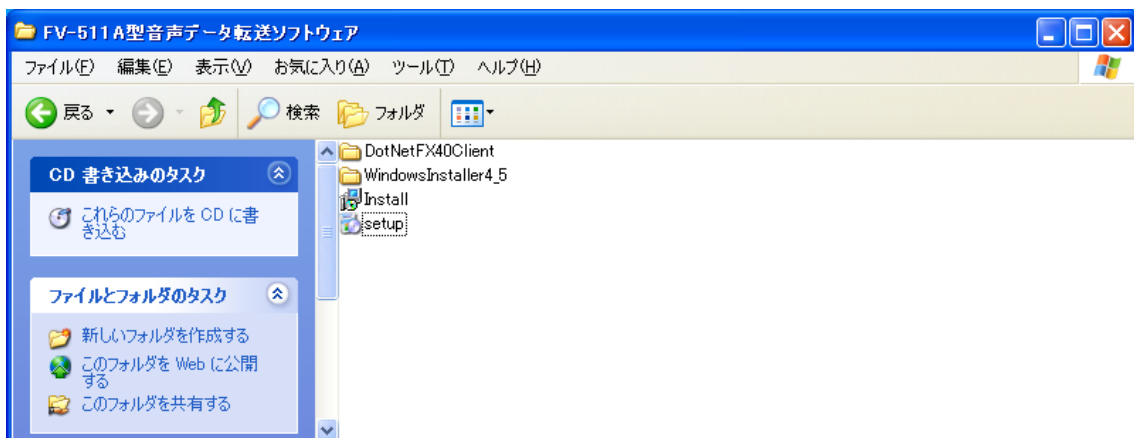
<CD-ROM 自動再生ウィンドウが表示されない場合>

デスクトップ上のマイコンピュータのアイコンをダブルクリックしてマイコンピュータを開き、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして CD-ROM のウィンドウを開いてください。

2. ウィンドウの「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」フォルダをダブルクリックして、ファイルを表示してください。



3. setup.exe のアイコンをダブルクリックしてインストールプログラムを起動してください。以下「2.2 インストール手順」に従って、操作してください。



2.2 インストール手順

前項、インストール用プログラムの起動方法に引き続き以下の手順に従ってインストールを完了させてください。

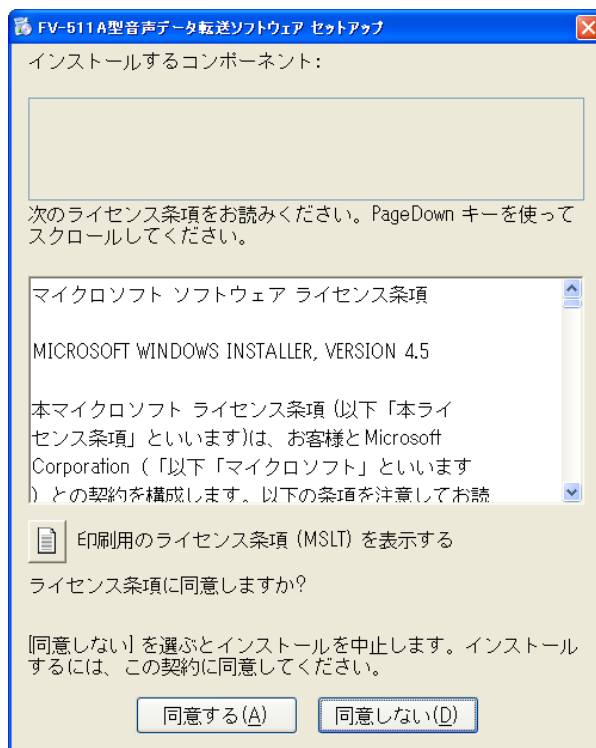
Microsoft .NET Framework 4 がインストールされていない場合
([6 ページ参照](#))

Microsoft .NET Framework 4 が既にインストールされている場合
([10 ページ参照](#))

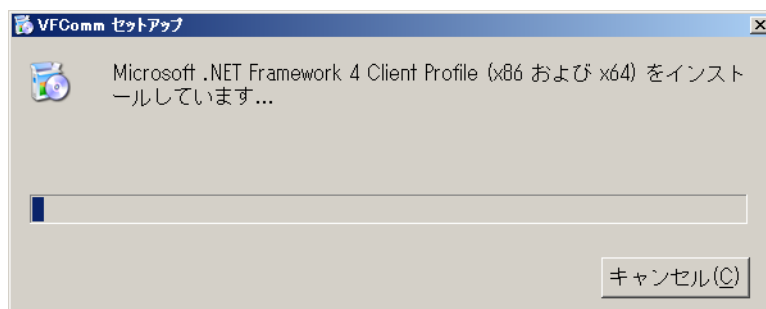
Microsoft .NET Framework 4 がインストールされていない場合

Microsoft .NET Framework 1.1～3.5 がすでにインストールされている場合もこの手順に従ってインストールしてください。

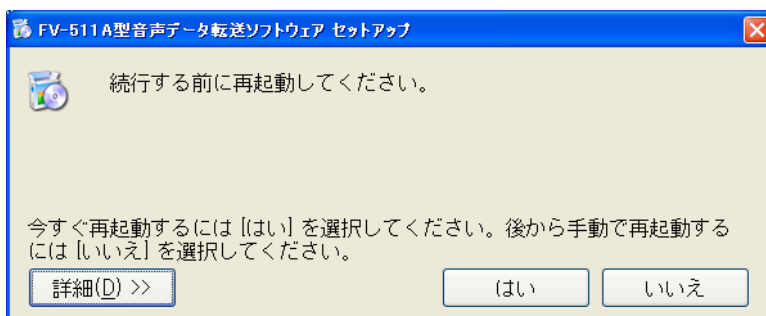
1. ソフトウェア契約書をお読みになり、同意された場合「同意する」ボタンをクリックしてインストールを継続して下さい。同意されない場合はインストールされません。



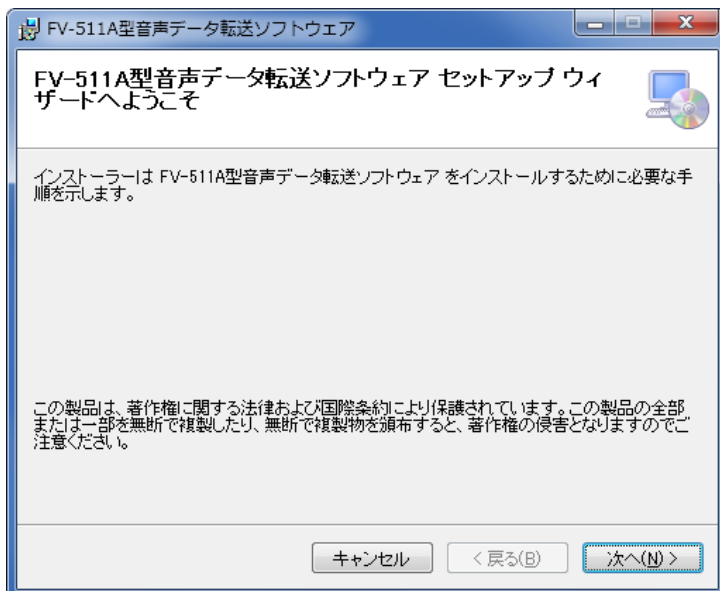
2. Microsoft .NET framework4 がインストールされます。しばらく時間がかかることがあります。



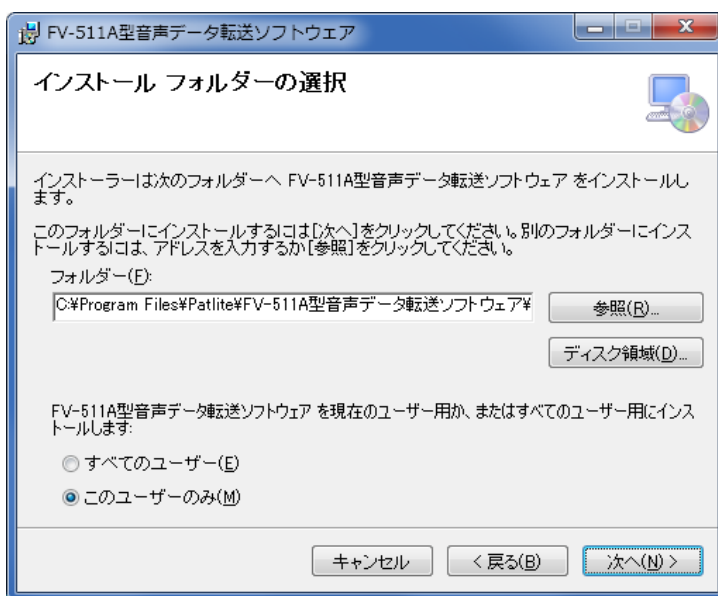
3. その後、下記の再起動ウィンドウが表示されます。
一度インストール/削除（アンインストール）した後、再度インストールする場合、下記再起動の画面がでない場合もあります。
「はい」をクリックして再起動してください。



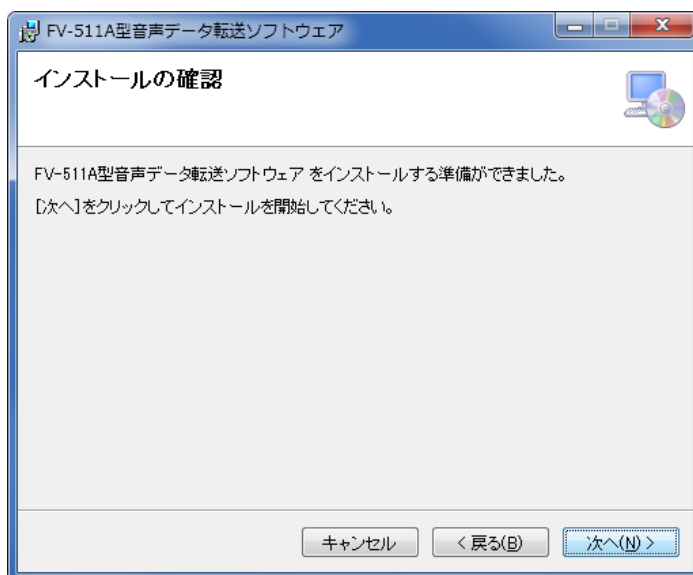
4. 再起動後、Microsoft .NET framework4 のインストールが完了し、「音声データ転送ソフトウェア」をインストールするウィンドウが表示されます。下記ウィンドウの「次へ」をクリックしてください。



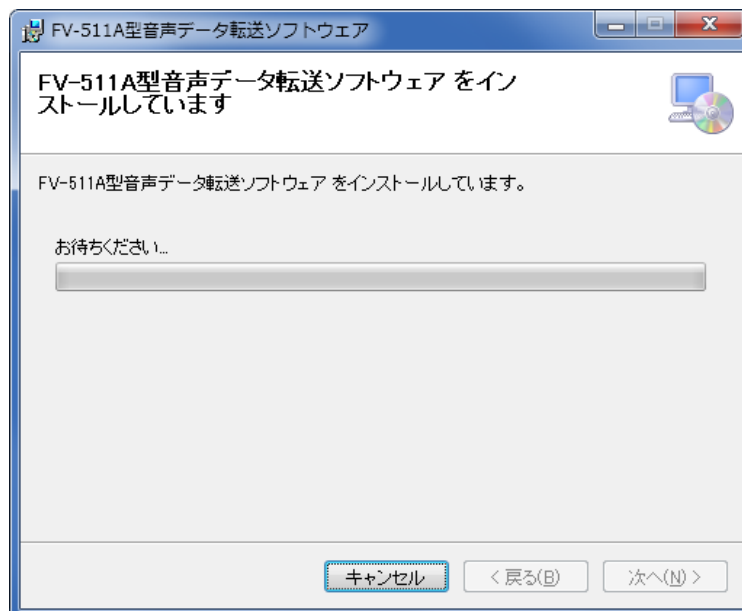
5. インストール先のディレクトリを指定して、「次へ」をクリックしてください。



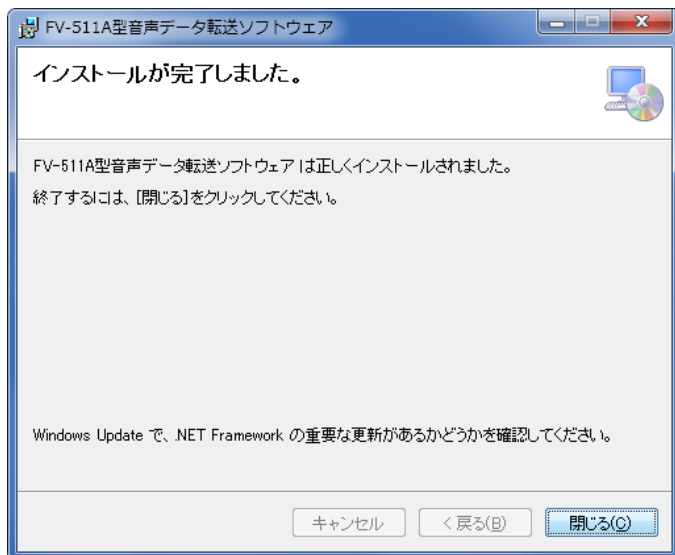
6. 下記ウィンドウの「次へ」をクリックしてください。



7. インストールを開始するときに Windows の OS から「ソフトウェアの更新を許しますか」というウィンドウが表示される場合は、すべて「はい」をクリックして、インストールを継続してください。

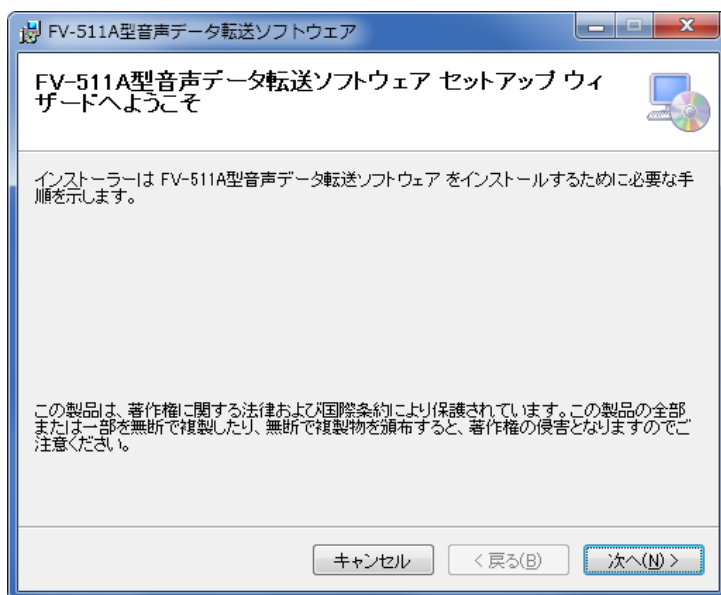


8. 「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」のインストールが終了すると、下記ウィンドウが表示されます。「閉じる」をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

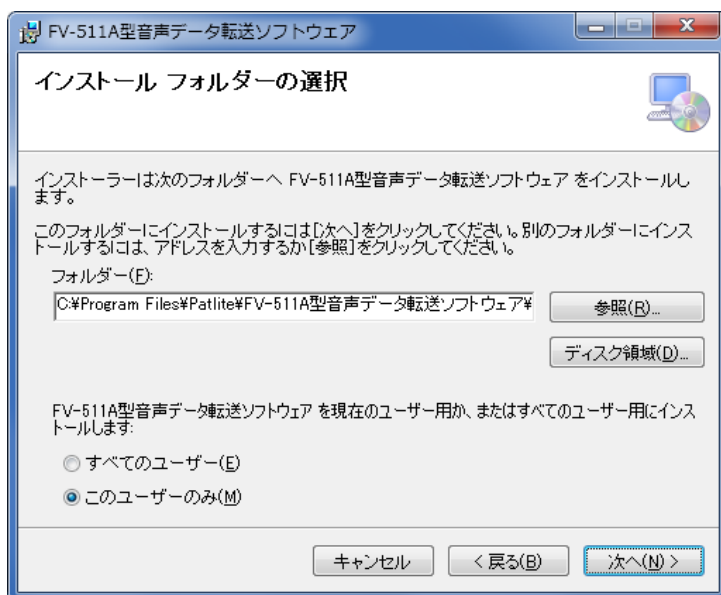


Microsoft .NET Framework 4 がすでにインストールされている場合

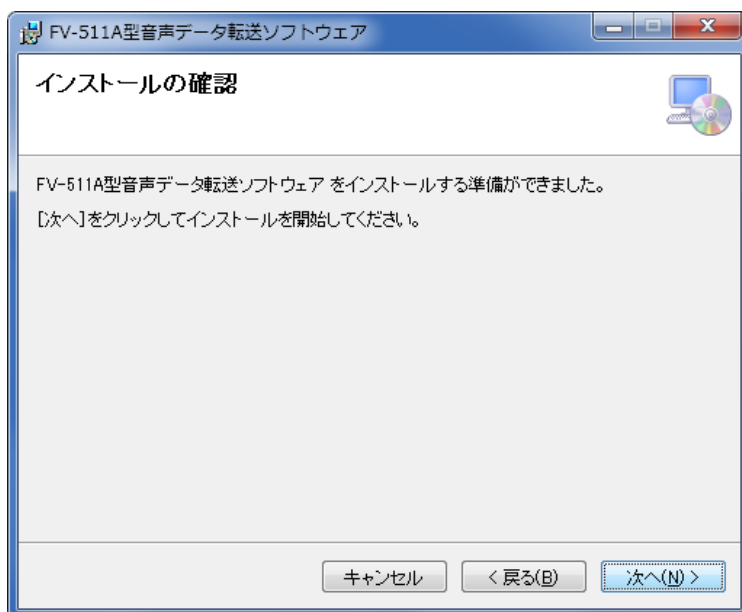
1. Microsoft .NET framework4 がすでにインストールされている場合、「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」をインストールするウィンドウが表示されます。下記ウィンドウの「次へ」をクリックしてください。



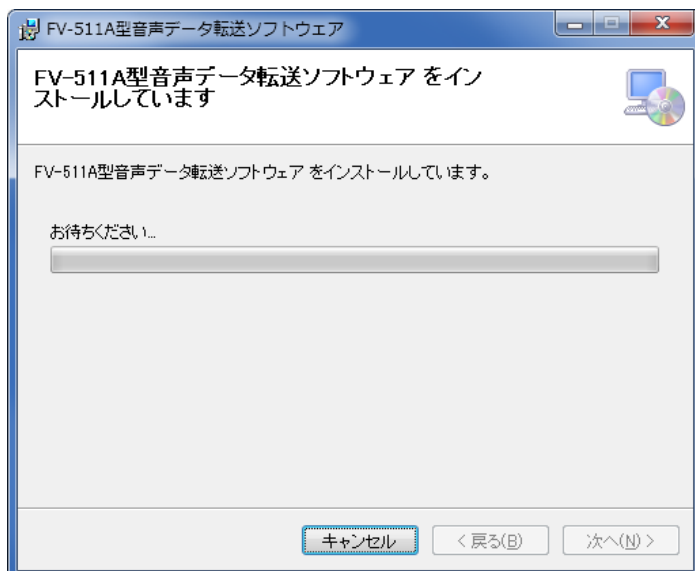
2. インストール先のディレクトリを指定して、「次へ」をクリックしてください。



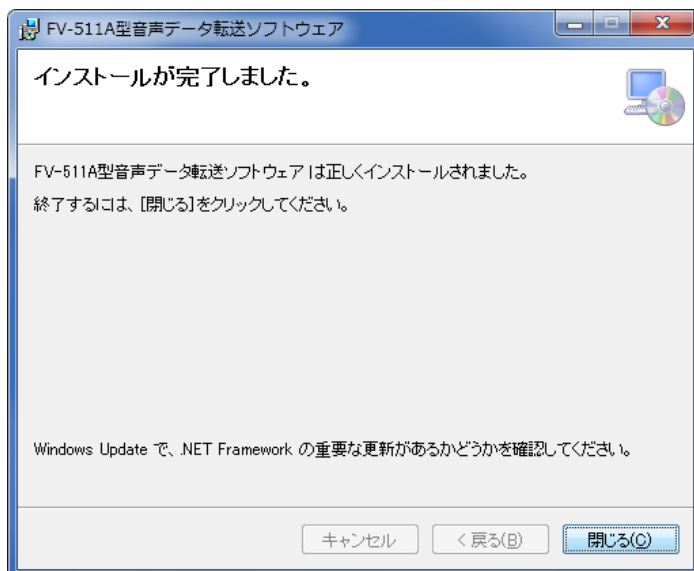
3. 下記ウィンドウの「次へ」をクリックしてください。



4. インストールを開始するとき Windows の OS から「ソフトウェアの更新を許可しますか」というウィンドウが表示する場合は、すべて「はい」をクリックして、インストールを継続してください。



5. 「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェアのインストールが終了すると下記ウィンドウが表示されます。「閉じる」をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

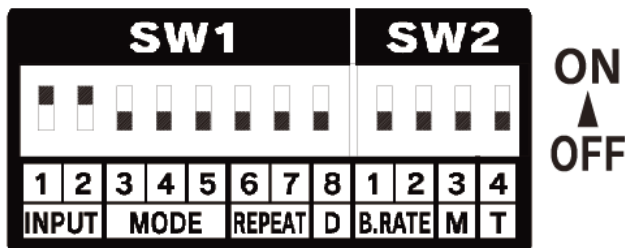


3. 音声データ転送方法

音声データを転送するには、FV-511A 本体の設定スイッチなどを設定する必要があります。FV-511A 本体設定後、インストールしました「FV-511A 型音声データ転送用ソフトウェア」を起動、設定をします。両方の設定が完了後、音声データの転送が可能となります。

3.1 FV-511A 本体の設定

1. FV-511A 本体の電源を投入してください。
FV-511A 本体の配線方法は、FV-511A 本体取扱説明書をご覧ください。
2. 設定スイッチをシリアル入力モードにしてください。



注意

- シリアル通信時は、ノーマル再生、メモリ再生、後入力優先再生、後入力・上位チャンネル優先再生モードの設定スイッチは有効ですが、ホールド再生の設定スイッチは無効となります。シリアル入力モード時は、ホールド再生モードにしないでください。
- 音声データ転送は、シリアル入力モードにしなくても転送可能ですが、シリアル通信の再生は、シリアル入力モードにしないと動作しません。
- シリアル入力モード時は、シリアル通信による再生や停止、および端子入力による再生や停止、どちらも有効になります。

3.2 プレイリストについて

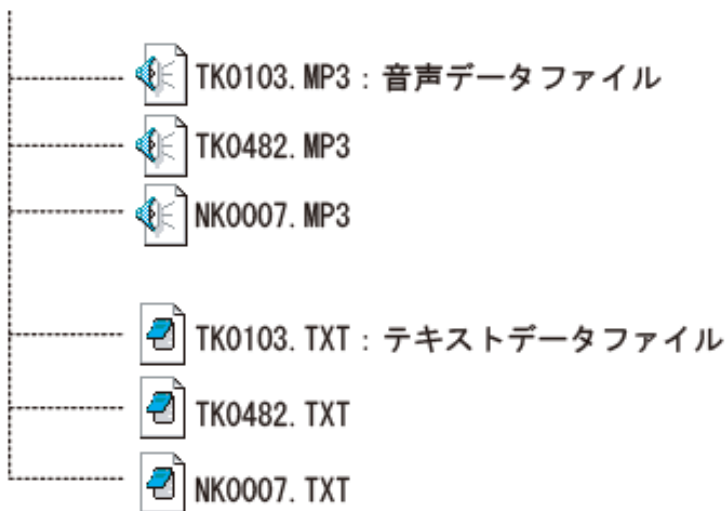
データを転送するには、プレイリストファイルと音声・テキストファイルを同じフォルダに格納する必要があります。ファイルイメージ図を下記に示します。プレイリストファイルの作成方法など詳細については、音声書き換えツール「FV-Win」(別売)のヘルプファイルや「PATLITE プレイリストエディタ」のヘルプファイルを参照してください。



playlist.slp : プレイリストファイル

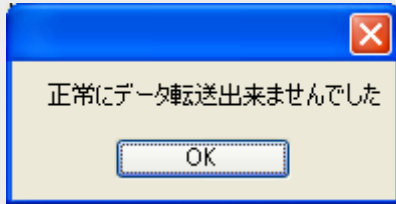


data : 音声・テキストファイルを格納するフォルダ



注意

- データ使用領域（音声・テキストデータファイル+プレイリストファイル）を 3,669,504byte 以下にしてください。これ以上のデータ容量は、データ転送時下記のようなエラーが表示され、データ転送できません。また、FV-511A 本体にも「E07」のエラーが表示されます。



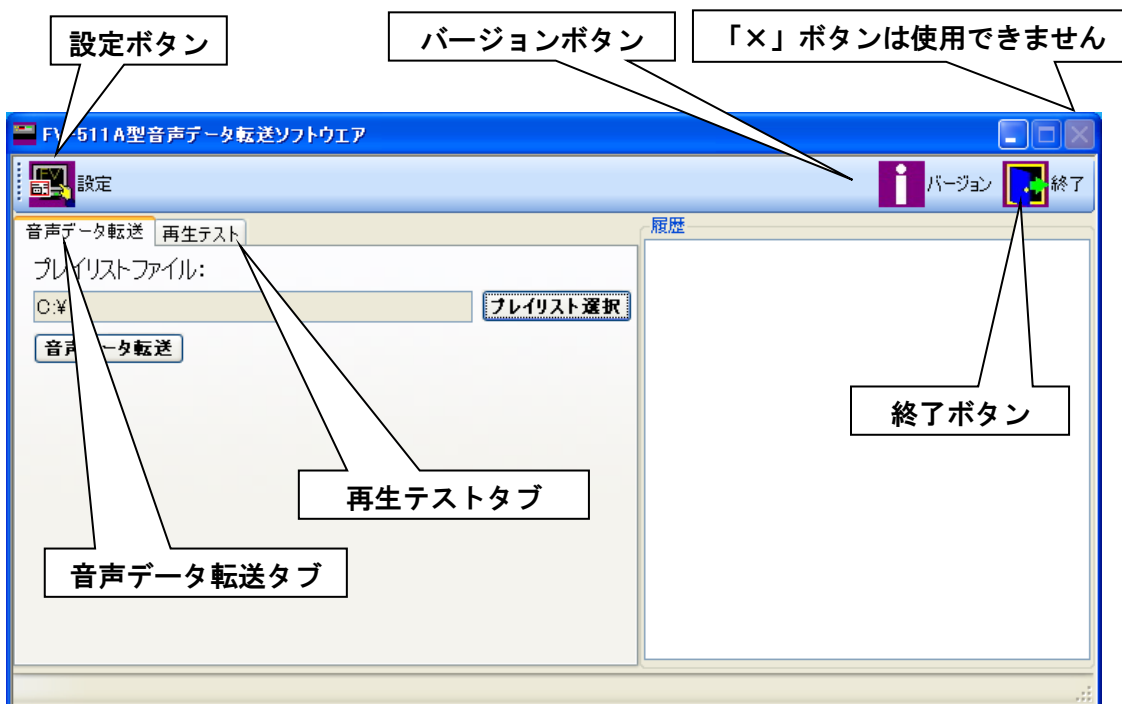
- 登録するメッセージ内容により、書き換えデータサイズの合計が製品の本体内存フラッシュメモリサイズよりも小さい場合でも、オペレーティングシステムなどの容量の表示誤差により、音声・テキストデータ書き換え時にエラーが発生することがあります。その場合は、合計データサイズを減らしてください。

3.3 音声データ転送ソフトウェアの起動

「スタート」→「すべてのプログラム」→「PATLITE」→「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」を順にクリックし、「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」をクリックすることで、「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」ウィンドウが開きます。

注意

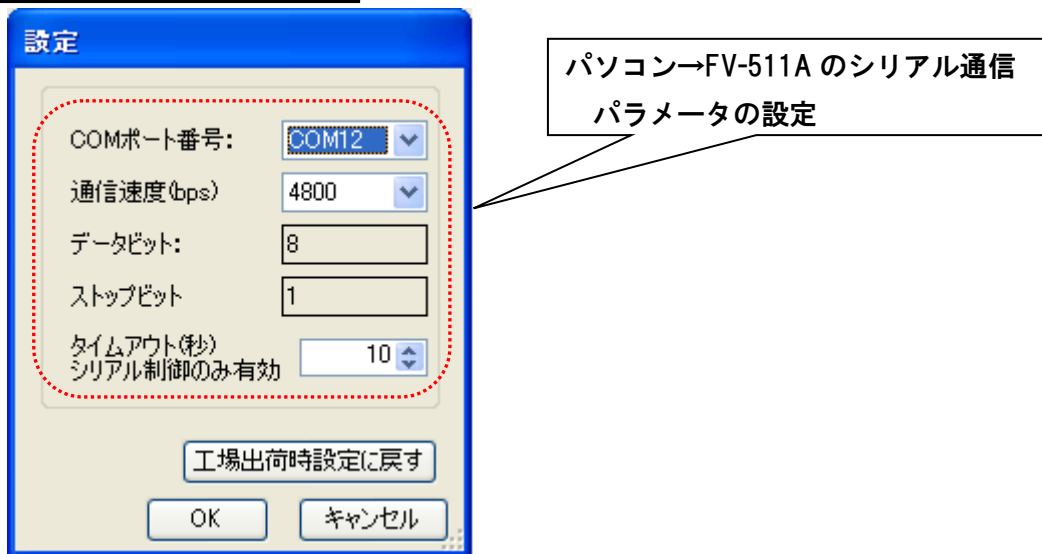
- パソコンによっては、「スタート」→「プログラム」→「Patlite」→「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」という構成の場合もあります。



「バージョン」ボタンをクリックすると、「バージョン情報」のウィンドウを表示します。



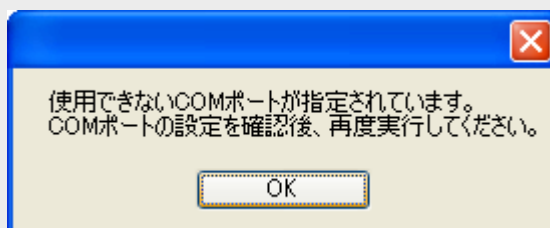
3.4 設定ウィンドウ



「設定」ボタンをクリックして、「設定」ウィンドウを表示します。
音声・テキストデータの転送またはシリアル通信制御をおこなう場合の通信速度など、各種設定ができます。音声・テキストデータの転送またはシリアル通信制御をおこなう前に必ず設定してください。

注意

- 他にシリアル通信ポートを制御するプログラムが既にインストールされている場合はそのプログラムがシリアル通信ポートを使用していない（開放している）ことを確認して、本プログラムを起動してください。もしくは、本プログラムを起動後、設定メニューから、空いているシリアル通信ポートを指定してください。
- もし選択したシリアル通信ポート（COMポート番号）が他のアプリケーションソフトなどで使用されている場合は下記のウィンドウを表示します。ウィンドウ内の「OK」をクリックし、他のシリアル通信ポート（COMポート番号）を選択して、やり直してください。



設定項目

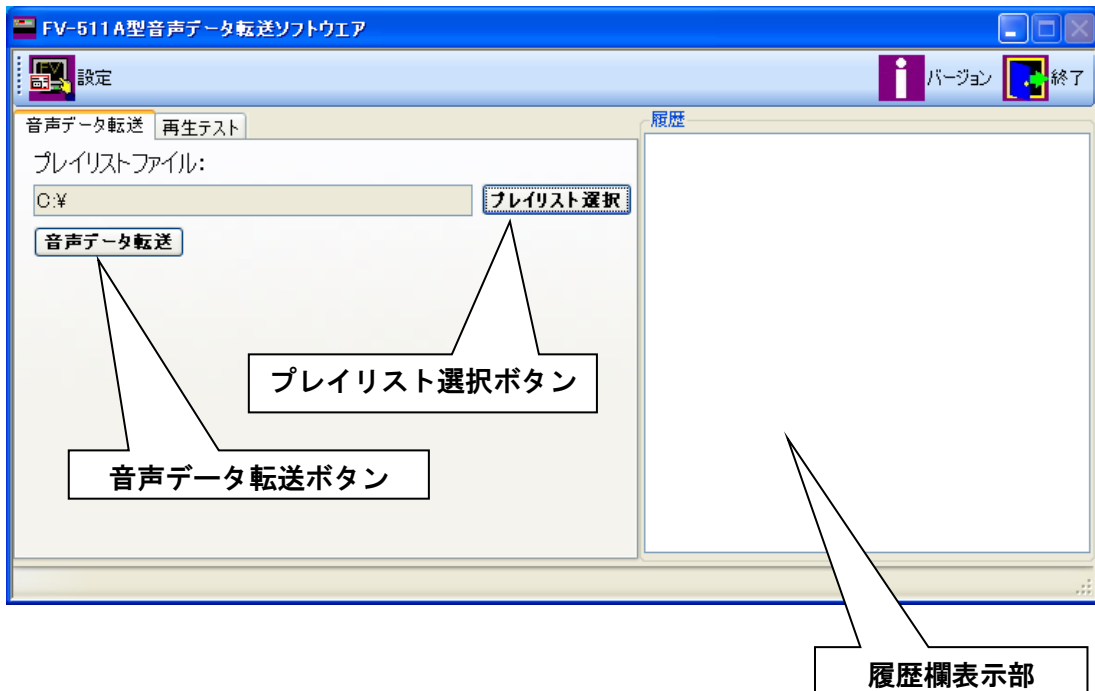
項目	選択範囲・項目
COMポート番号	パソコンの使用可能なシリアル通信ポート（COMポート番号）を取得し、表示します。FV-511A型本体との接続に使用しているポートを選択してください。 セキュリティソフトなどのエラー表示がされる場合は、システム管理者に連絡してください。
通信速度（bps）	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps この項目と、FV-511A本体の設定スイッチの通信速度設定は、必ず同じにしてください。異なる場合、エラーが表示されます。
データビット（固定）	8（固定） *変更できません。
ストップビット（固定）	1（固定） *変更できません。

ボタン	説明
タイムアウト（秒） シリアル制御のみ有効	パソコンから本機にデータまたは転送コマンドを送信する際に本機から返信が来ない場合など、タイムアウトのエラー表示を出します。タイムアウトエラー表示をおこなうまでの時間を設定できます。 工場出荷時設定：10秒 設定可能範囲：0～100秒
工場出荷時設定に戻す	下記の設定値に戻すことができます。 通信速度：4800bps データビット：8ビット（固定） ストップビット：1ビット（固定）
OK	COMポート番号、通信速度ダイアログボックスで設定した内容を有効にします。
キャンセル	設定した内容を取り消し、設定作業を終了します。

3.5 音声データ転送ウィンドウ

「音声データ転送」タブをクリックすると音声データ転送ウィンドウが表示されます。

(「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」を起動したときの初期ウィンドウになります。)

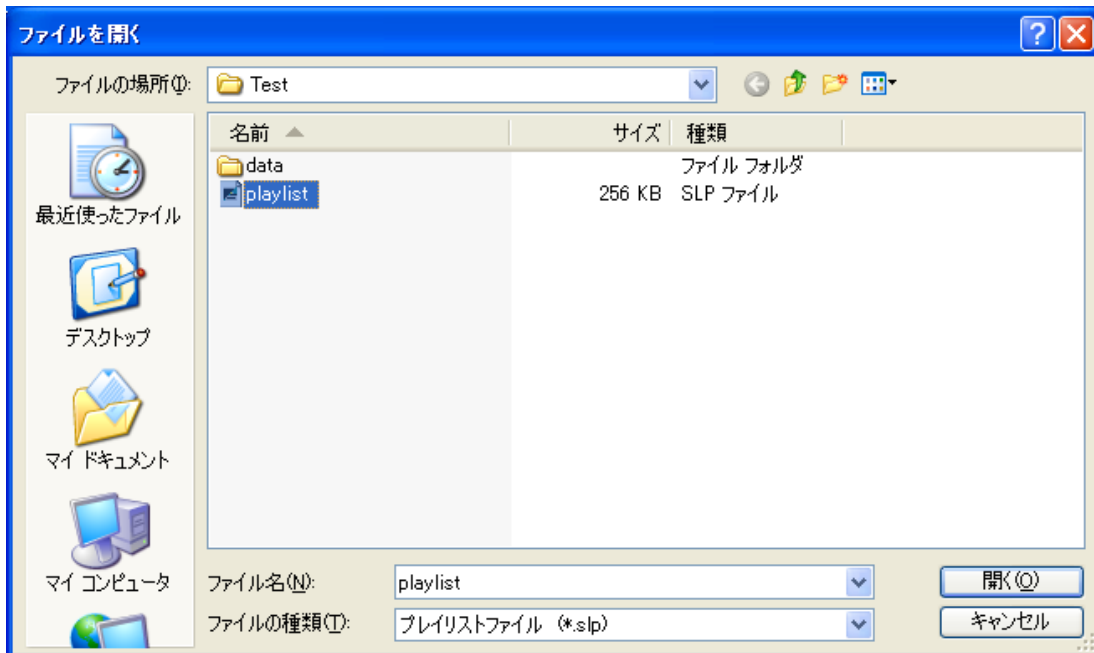


注意

- 音声データ転送は、FV-511A 本体待機状態のときにおこなってください。再生中に音声データ転送をおこなうと、再生中のメッセージは停止します。また、誤動作の原因となります。
- 音声データ転送中、および転送完了後約 10 秒は、CH 再生などの各種入力を与えないでください。

3.5.1 音声データ転送ウィンドウの各ボタン機能と操作

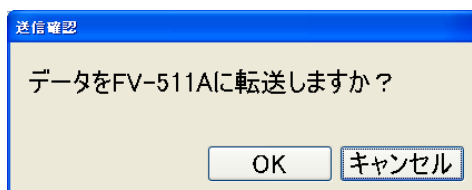
1. 「プレイリスト選択ボタン」をクリックと、下記のようなファイル選択ウィンドウが表示されます。転送したい「playlist.slp」ファイルを選択し、続行する場合は「開く」を、中止される場合は「キャンセル」をクリックしてください。



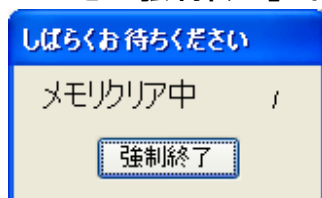
注意

- 「FV-Win」または「PATLITE プレイリストエディタ」で作成した playlist.slp ファイルのみ選択可能です。
- playlist.slp ファイルと data フォルダは同じフォルダ内に保存してください。

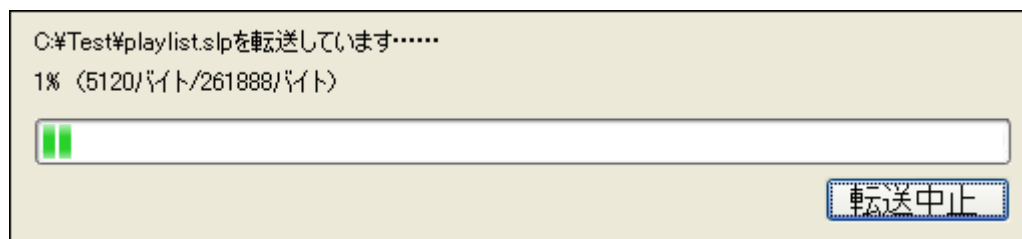
2. 上記で「playlist.slp」ファイルを選択し、「開く」をクリックした後、「音声データ転送」をクリックすると送信確認画面が表示されます。続行する場合は「OK」を、中止される場合は「キャンセル」をクリックしてください。



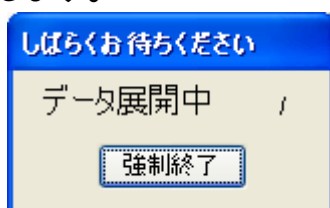
3. 正しい「playlist.slp」を選択した場合は、音声・テキストデータの転送が始まります。まず、最初に FV-511A 本体に内蔵された内蔵フラッシュメモリを消去するために、「メモリクリア中」ウィンドウが表示されます。このとき「強制終了」ボタンをクリックすると、転送が終了します。



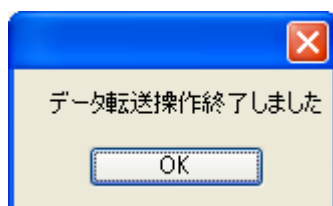
4. 内蔵フラッシュメモリの消去が完了すると下記の転送ウィンドウが表示されます。データの転送は、通信速度やデータ容量にもよりますが、しばらく時間がかかることがあります。このとき「転送中止」ボタンをクリックすると、転送を中止することができます。



5. 音声・テキストデータ転送後、FV-511A 本体の内蔵フラッシュメモリに音声・テキストデータが展開されるまで「データ展開中」のウィンドウが表示されます。このとき「強制終了」ボタンをクリックすると、転送が終了します。



6. 音声・テキストデータの展開が終わり、すべて転送作業が終了しましたら、「データ転送操作終了しました」が表示されます。「OK」ボタンをクリックすると音声データ転送ウィンドウに戻り、データ転送完了となります。

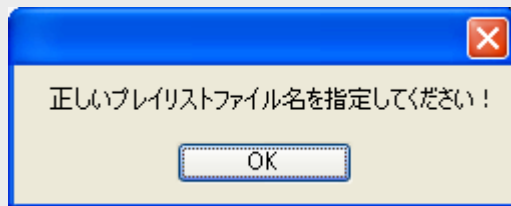


注意

- 「playlist.slp」以外のファイル名を選択した場合

下記ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリックすると、再度プレイリストを選択するウィンドウが表示されますので、正しいファイルを選択してやり直してください。

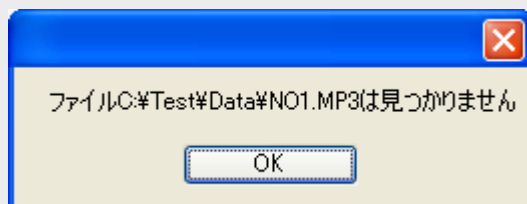


- data フォルダがない、□.MP3 や□.TXT ファイルがない場合

本ソフトは音声・テキストデータの転送前に、プレイリストで設定した音声・テキストデータファイルが data フォルダ内にあるかなどの整合性チェックを実施します。data フォルダがない場合や、

「playlist.slp」で設定した□.MP3 や□.TXT ファイルが data フォルダの中にある場合、下記のウィンドウが表示されます。

この場合、一旦、「OK」をクリックして、すべてのウィンドウをキャンセルし、本ソフトを終了してください。その後、「playlist.slp」や data フォルダ内の音声・テキストデータを正しく設定・保存し直してから、本ソフトを再起動して最初からやり直してください。

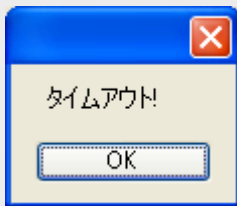


(上記ウィンドウ例は、ファイル名 N01.MP3 が見つからないとき)

注意

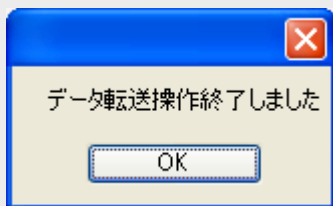
● 各種設定間違いの場合

下記のように「タイムアウト」が表示されます。
各種設定に間違いがないかなど確認して、「OK」をクリックしてやり直してください。



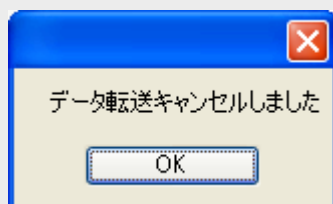
● 強制終了ボタンをクリックした場合

下記のように「データ転送操作終了しました」が表示されます。
「OK」をクリックすれば、直前に表示していたウィンドウに戻ります。



● 転送中止ボタンをクリックした場合

下記のように「データ転送キャンセルしました」が表示されます。
「OK」をクリックすれば、直前に表示していたウィンドウに戻ります。



● 通信ケーブルが途中で抜けるとデータ転送できません。通信ケーブルの接続を確認してください。

3.5.2 音声データ転送ウィンドウにおける履歴欄の表示内容

履歴表示欄には送信するコマンドに沿った内容の処理状況を表示します。
表示は「各種履歴表示項目」の前に処理を行った時間を付加して表示します。

(表示例)

13 : 00 : 00 @1TRNS!送信しました
時 : 分 : 秒 「 処理内容 」

<データ転送が成功の場合>

履歴欄表示項目	処理内容
@1TRNS!送信しました	転送開始
プレイリストファイル転送成功	プレイリストファイルの転送成功
TXT ファイル□□□.TXT 転送成功	「□□□.TXT」の転送成功
MP3 ファイル□□□.MP3 転送成功	「□□□.MP3」の転送成功
@1TRNE!送信しました	転送終了
ACK 受信、データ展開完了	本体データ展開後、転送操作完了

<データ転送が失敗の場合>

履歴欄表示項目	処理内容
データ転送失敗しました	メモリクリア中に、強制終了ボタンをクリックまたはケーブルを抜いた場合
プレイリストファイルデータ転送失敗 データ転送失敗しました	プレイリストファイルデータ転送中に、転送中止ボタンをクリックまたはケーブルを抜いた場合
音声ファイル□□□.MP3 転送失敗 データ転送失敗しました	音声データ転送中に、転送中止ボタンをクリックまたはケーブルを抜いた場合 データ容量が大きすぎる場合
TXT ファイル□□□.TXT 転送失敗 データ転送失敗しました	テキストデータ転送中に、転送中止ボタンをクリックまたはケーブルを抜いた場合
データ展開操作異常終了しました データ転送失敗しました	データ展開中に、強制終了ボタンをクリックまたはケーブルを抜いた場合

3.6 再生テストウィンドウ

本機能は、お客様がシリアル通信機能を使用して本機を設置する場合の動作確認の参考ソフトとして開発したものであり、あくまで事前確認テストとしてご使用いただくことができます。

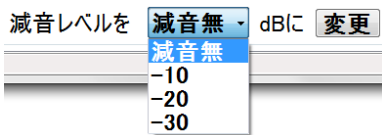
「再生テスト」タブをクリックして、再生テストウィンドウを表示します。



制御命令送信部

履歴欄表示部

3.6.1 再生テストウィンドウの各ボタン機能

ボタン	動作	設定範囲	工場出荷時設定
「再生」	指定したチャンネルの音声・テキストメッセージを再生。	1~1023 CH	1CH
「再生停止 (STP)」	再生中の音声・テキストメッセージを停止。	—	—
「メモリ消去(CLR)」	再生中の音声・テキストメッセージを停止。 メモリ再生モードでは、メモリされたチャンネル入力情報のすべてを消去。 メモリ再生モード以外の再生モードの場合は「再生停止」ボタンと同じ機能。	—	—
減音「変更・送信」	音声メッセージの減音レベル設定を変更。 	減音無 -10dB -20dB -30dB	減音無
リピート 「変更・送信」	音声・テキストメッセージのリピート回数の変更。 リピート回数を「255」に設定した場合は無限回になる。 この際、再生を停止する場合は「再生停止」または「メモリ消去」をクリックする。	0~255 回	0回
インターバル 「変更・送信」	メッセージとメッセージ間のインターバル時間の設定を変更。	0~999 秒	0秒
「再生中のメッセージ番号を取得」	再生中の音声・テキストメッセージの番号を取得。	—	—
「端子入力の番号(上位)取得」	現在入力されている端子入力の最上位の端子番号を取得。	—	—

注意

- FV-511A 本体の設定スイッチにてシリアル入力モードに必ずしてください。シリアル通信による減音設定、リピート回数設定、インターバル秒数設定は、シリアル通信時のみ有効となります。
- シリアル通信モードに設定した場合には、FV-511A 本体の設定スイッチでの減音設定、およびリピート回数設定は、無視されます。
- 「FV-Win」や「PATLITE プレイリストエディタ」で設定したメッセージ独自の減音設定、リピート回数、インターバル秒数設定は有効のまま、シリアル通信で設定した設定内容と組み合わせて再生いたします。「FV-Win」や「PATLITE プレイリストエディタ」の設定方法などについては、それぞれのヘルプファイルを参照してください。
- 「FV-Win」や「PATLITE プレイリストエディタ」のリピートは、フレーズのリピートであり、シリアル通信のリピートは、メッセージ(CH)のリピートとなるため、意味合いが異なります。
- シリアル通信のインターバルは、「FV-Win」や「PATLITE プレイリストエディタ」で設定するインターバルと異なり、シリアル通信で設定したリピート間のみ適用されます。
- 「FV-Win」や「PATLITE プレイリストエディタ」でリピート回数を255回に設定した場合、そのメッセージは無限回数の再生となりますので、本音声データ転送ソフトウェアでのリピート回数設定は無視されます。
この際、無限回で再生中のメッセージを停止する場合は、「再生停止」または「メモリ消去」ボタンをクリックしてください。
- リピート「変更・送信」は、再生前に送信してください。再生中に送信しても、再生途中の音声には反映されません。インターバル「変更・送信」は、再生途中の音声に反映されます。
- コマンド送信時、音声が一瞬途切れる場合があります。

3.6.2 再生テストウィンドウにおける履歴欄の表示内容

履歴表示欄には送信するコマンドに沿った内容の処理状況を表示します。
表示は「各種履歴表示項目」の前に処理を行った時間を付加して表示します。

(表示例)

13:00:00 再生命令送信
時:分:秒 「 処理内容 」

<「再生」ボタンに関連する履歴表示>

履歴欄表示項目	処理内容
再生命令送信	再生要求チャンネルの情報を送信中
再生命令送信成功	再生要求チャンネルの情報を送信完了
再生命令送信失敗	再生要求チャンネルの情報の送信に失敗

<「再生停止」ボタン関連する履歴表示>

履歴欄表示項目	処理内容
停止命令送信	再生停止要求コマンドを送信中
停止命令送信成功	再生停止要求コマンドを送信完了
停止命令送信失敗	再生停止要求コマンドの送信に失敗

<「メモリ消去」ボタン>

履歴欄表示項目	処理内容
消去命令送信	消去命令コマンドを送信中
消去命令送信成功	消去命令コマンドを送信完了
消去命令送信失敗	消去命令コマンドの送信に失敗

<「再生中のメッセージ番号を取得」ボタンに関連する表示>

履歴欄表示項目	処理内容
再生中のメッセージ番号を取得命令送信	本機で再生中のメッセージ番号を取得する命令を送信中
本機は再生中ではありません	本機で再生中のメッセージがないとき
再生中のメッセージ番号を取得命令送信成功	本機で再生中のメッセージ番号の取得命令の送信に成功
本機はメッセージ番号：□□□□を再生中	本機でメッセージ番号□□□□を再生中であるとき
再生中のメッセージ番号を取得命令送信失敗	本機で再生中のメッセージ番号の取得に失敗

<「端子入力の端子番号（上位）取得」ボタンに関連する表示>

履歴欄表示項目	処理内容
端子入力のチャンネル（上位）取得命令送信	本機で端子入力されているメッセージ番号（上位）を取得する命令を送信中
端子入力のチャンネル（上位）取得命令送信成功	本機で端子入力されているメッセージ番号（上位）を取得する命令の送信に成功
端子入力のチャンネル（上位）取得命令送信失敗	本機で端子入力されているメッセージ番号（上位）の取得に失敗
本機の端子入力はありません	本機で現在、端子入力がされていないとき
端子入力の番号（上位）は：□□□□	本機で入力されている端子入力の番号（上位）が□□□□であるとき

<「リピート回数 変更・送信」ボタンに関連する表示>

履歴欄表示項目	処理内容
リピート□□□回送信	リピート回数変更コマンドを送信中
リピート回数送信成功	リピート回数変更コマンドを送信完了
リピート回数送信失敗	リピート回数変更コマンドの送信に失敗
エンドレス再生になります	リピート回数変更コマンドで255回を送信したため、エンドレスで再生します。再生を停止する場合は「再生停止」ボタンで再生停止コマンドを送信してください。

<「インターバル 変更・送信」ボタンに関連する表示>

履歴欄表示項目	処理内容
インターバル□□□秒送信	インターバル変更コマンドを送信中
インターバル変更命令送信成功	インターバル変更コマンドを送信完了
インターバル変更命令送信失敗	インターバル変更コマンドの送信に失敗

<「減音 変更・送信」ボタンに関連する表示>

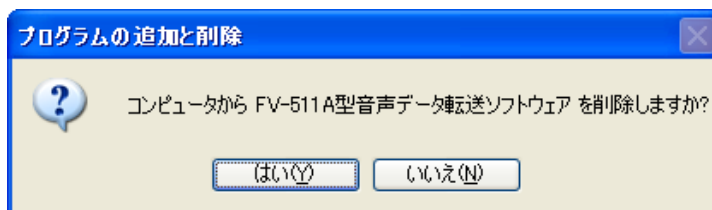
履歴欄表示項目	処理内容
減音-10dB 送信	減音-10dB 要求コマンド送信中
減音-20dB 送信	減音-20dB 要求コマンド送信中
減音-30dB 送信	減音-30dB 要求コマンド送信中
減音無送信	減音無変更コマンドを送信中。 減音-10dB コマンドなどで減音されているとき、減音状態をキャンセルするための「減音無送信」コマンド送信時に表示。
減音命令送信成功	減音□□□要求コマンド送信に成功
減音命令送信失敗	減音□□□要求コマンド送信に失敗

4. ソフトウェアの削除（アンインストール）

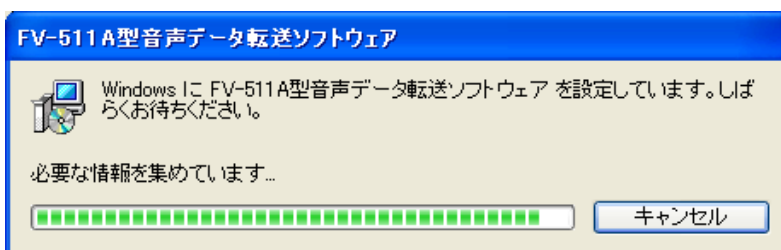
「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」を削除する場合、次の手順に従って操作してください。なお、本書では Windows^(R) XP での削除方法を記載しています。その他の OS での削除方法は、各 OS のヘルプファイルなどを参照してください。

4.1 「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」の削除

1. 「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」を起動し、「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」を選択し、「削除」をクリックしてください。
2. 「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されますので、続行する場合は「はい」を、中止される場合は「いいえ」をクリックしてください。



3. 「はい」をクリックすると、下記ウィンドウが表示され、削除が開始されます。



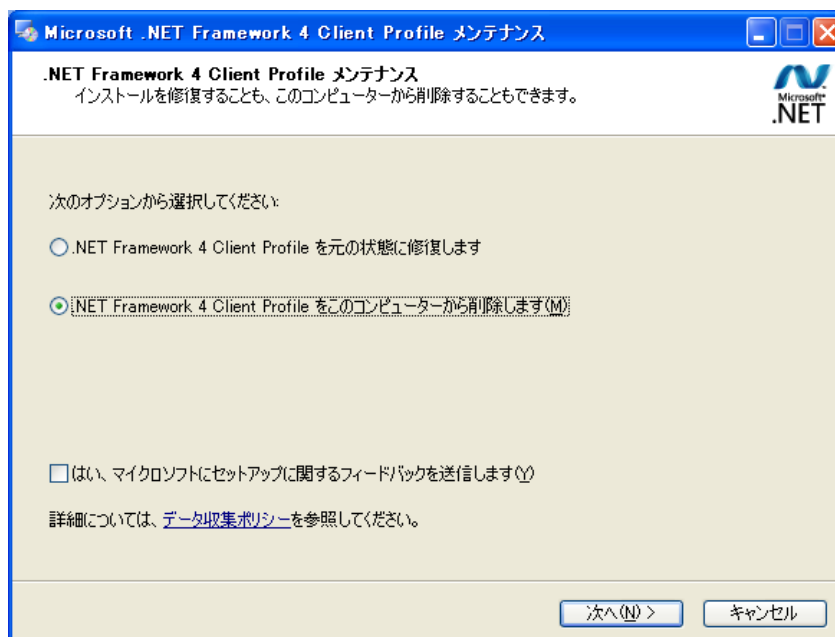
4. 上記ウィンドウが閉じれば、削除が完了です。
この場合、「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」は削除されましたが、「Microsoft .NET Framework 4」はまだ削除されておりません。

4.2 「Microsoft .NET Framework 4」の削除

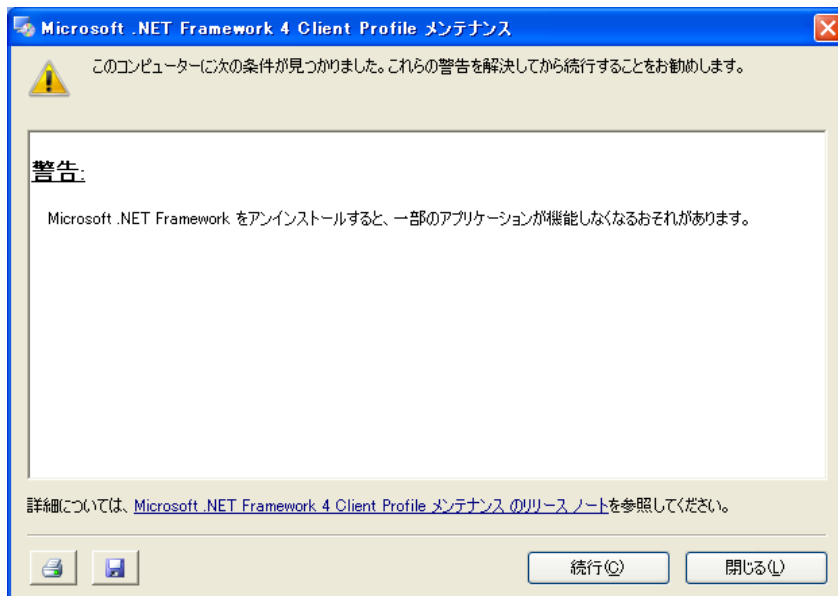
注意

- 他のアプリケーションで「Microsoft .NET Framework 4」を使用している可能性がありますので、必ず使用していないことを確認してから削除してください。

1. 「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」を起動し、「Microsoft .NET Framework 4.Client Profile」を選択し、「削除」をクリックしてください。
2. 下記のようなウィンドウが表示されます。「NET Framework 4.Client Profile をこのコンピュータから削除します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



3. 他のアプリケーションで「Microsoft .NET Framework 4」を使用している可能性がありますので、使用していないことを確認してから、「続行」をクリックしてください。



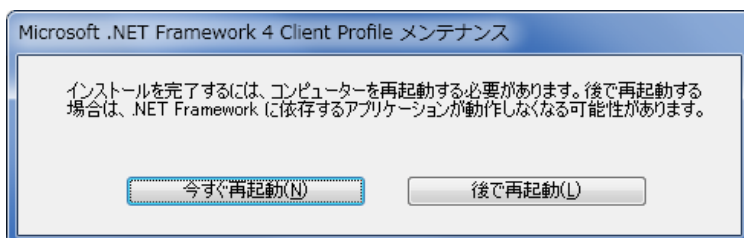
4. 「続行」をクリックすると、下記ウィンドウが表示され、削除が開始されます。しばらく時間がかかることがあります。



5. 下記ウィンドウが表示されれば、削除完了です。「完了」をクリックしてください。



6. コンピュータを再起動するウィンドウが表示されますので、「今すぐ再起動」をクリックして、コンピュータを再起動してください。



これで「FV-511A 型音声データ転送ソフトウェア」と「Microsoft .NET Framework 4」の両方が削除されました。

世界中に「安心・安全・楽々」をお届けする	
株式会社 パトライト	
www.patlite.co.jp	
J2F	
【受付】月～金 9:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く	●技術・修理相談窓口(無料) : 0120-497-090
※ご注文・価格・納期等は、販売店または各営業所拠点にお問い合わせください。	